

前回協議会以降に各委員からいただいた主なご意見に対する対応について

■計画(案)全体について

- ・上位計画・関連計画と「生駒市の地域公共交通に対する考え」の関連がわからない。位置づけがわかるように。

⇒計画の位置づけに記載しました。

- ・現状把握、課題分析、上位計画等の整理、地域公共交通のあり方、目指すべき将来像と基本方針という構成だが流れがわからない。構成を見直してはどうか。

⇒構成を見直し9章編成に再編しました。

- ・目標指標を向上させる施策として、まちづくりの観点から交通利便地域へ居住誘導を促進する施策も考えられるが、市の検討・実施の予定は？

⇒居住誘導を促進する施策として立地適正化計画による居住誘導区域の設定があるが、本市は谷筋に市街地が集約され、東西・南北方向に存する公共交通により地勢上・交通上コンパクトな都市構造であり、かつ、都市計画マスタープランにおける土地利用の方針において一定居住誘導を図っています。今後必要に応じて立地適正化計画の策定に向けた検討を進めます。

- ・駅等のカバー圏域の考え方について説明した方がよいのでは？

⇒対応しました。

■具体的な事業について

- ・交通サービスの提供として、「ボランティア輸送」がある地区とない地区の考え方は？

⇒名称は助け合い輸送に統一しました。助け合い輸送を検討する地区について、エリアが広く、鉄道駅から距離があり、タクシーやバス等の交通事業者の施策は収支の面でハードルが高いと思われる地区を対象にしました。

- ・MaaSについて、実施主体は？また、どのように進めるのか？また、どのようなものを市民に提供するのか？

⇒現時点では未定です。

- ・企業や病院等の送迎バスとの連携について、企業共同運行バスなどの検討も必要では？

⇒今後検討していきます。

- ・公共交通不便地域での公共交通サービスは市、利用者、事業者、周辺施設等の負担割合や支援も含めて検討するよう記述してほしい。

⇒今後検討していきます。

■評価指標について

- ・目指すべき将来像の実現に向けての評価指標があっていない。

⇒指標を見直しました。

■その他について

- ・資料は簡潔にわかりやすくしてほしい。(資料が多すぎる)
- ・論点を明確にしてほしい。
- ・協議会の議論がコミバスの事しかない。
- ・市内全体の交通手段を大局的に議論すべき。
- ・文章が長すぎて目的や主語・述語がわかりにくい。